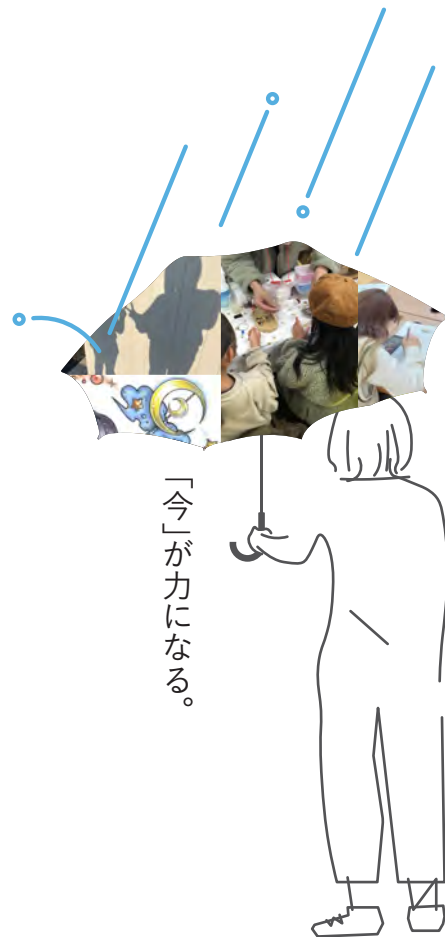


TSU NA GA RU

一人の子どもや若者も取り残さない社会をつくる
さいたまユースマガジン

7 / 002
2022

- つな がる -



「今」が力になる。



夏の物語

特集

子ども第三の居場所
地元企業との連携

NPO法人さいたまユースサポートネット
<https://saitamayouthnet.org/>

NPO法人さいたまユースサポートネット
[saitamayouth](https://saitamayouth.net)



column

いじめのアフターケアに向けて

さいたまユースサポートネット副代表／
若者自立支援ルーム統括所長 金子由美子



私が所長を務める若者自立支援ルームは、15歳から39歳の子ども、若者たちの居場所、自立支援の場です。彼らと面談をしていると小学校、中学校、高校での「いじめ」の体験者を語ってくれますが、いじめの辛さ以上に、私たちに訴えたいことがあるのです。「その時、おとなは助けてくれなかった」ということを。放置された失望、虚無、怨念、敵意などが、これまでなんらかケアされず小、中、高を卒業すると同時に「なかった」ことにされて世に送り出されてしまうのです。

日本WHO協会の定義では、

世界では、過去1年間に、2～17歳の子どもたちの10億人が身体的、性的、感情的な暴力や無視などのいじめを経験していると推定されています。子どもの時期の暴力体験は、生涯にわたる健康や幸福に影響を与えます。子どもへの暴力が予防可能であるということは、世界各地で実証されています。

子どもたちは、いじめに耐えている間に、感情を押し殺し続けて生きる術を身に着けます。故にその後の集団生活において、自らの意思や感情を相手にうまく伝えることが苦手となります。信頼たり得るおとなを探し「試し行動」をしても、思い通りにならないとパニックに陥り反動的、破壊的、攻撃的な態度をとることもあります。進学先の学校、バイト、就労、恋愛関係も、ことごとく上手くいかず困り果てている、そんな彼らが悪いのでありません。いじめ被害者は、病気やケガのダメージと同様に、回復するまで治療、アフターケア、リハビリテーション、さらに生活管理まで含めた健康管理を行う必要があるのです。さらに、社会復帰のためのプログラムの設定など、新たな社会的システムの構築を社会提起しなければならないと、痛切に感じている日々です。

さいたまユースサポートネットを支えてくださる皆様と共にできることが無限大にあるはずです。

共に、子どもの未来を創っていきましょう。

書籍紹介

性教育や思春期など、子ども・若者に密接に関わるテーマでの書籍を出版しています。ぜひお手に取ってご覧ください。(一部抜粋)



レインボーKids

あなたの身近にレインボーな友だちがいるって知っていた？レインボー(虹色)は、性の多様性を表すLGBTの象徴。小学校のころから悩むことが多いので、保護者にもぜひ読んでもらいたい漫画と解説です。



おれたちロケット少年

男の子がこっそり知りたい、性器の仕組み、異性への関心、女の子との違いなど13のテーマを取り上げています。



思春期ってなんだろう

成長によるからだと心の変化を知ることで、自己肯定感が生まれ、意欲的に生きていく基盤がつくられていきます。長年の保健室実践にもとづいて思春期を豊かに生きる知恵や考え方を助言します。



思春期革命～カラダとココロのハジメテ～

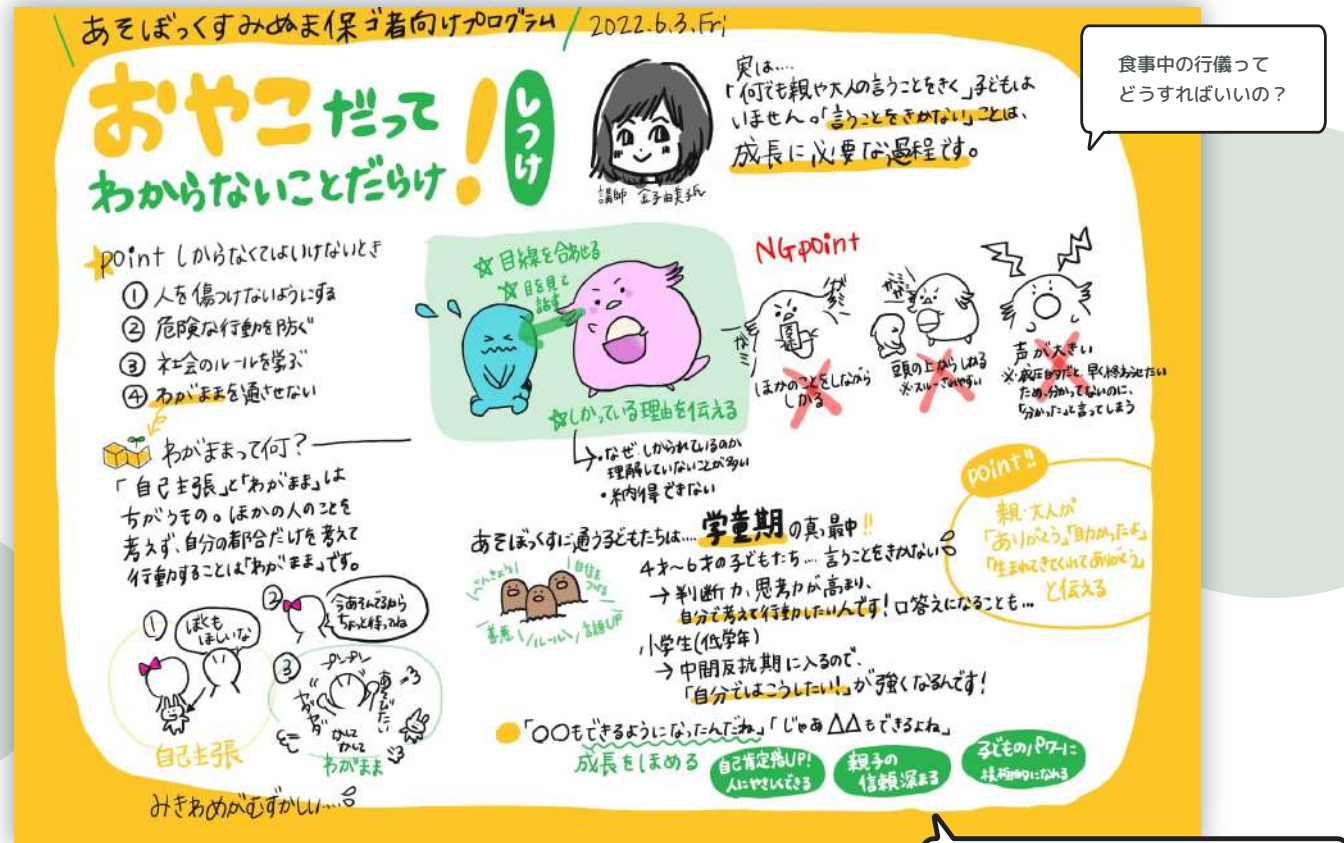
体の変化に悩む私に、ブラのこととか生理のことを教えてくれる。思春期の体と心の変化に戸惑いながら、恋や友情を育む、思春期ドキ☆ワク物語♪

Report

あそぼっくすみぬま保護者向けプログラム

おやこだって、 わからないことだらけ！

あそぼっくすみぬまでは、保護者向けプログラムを2022年から開始しました。保護者の方が気になるテーマをもとに、当日の内容を組み立てていきます。第1回は「しつけ」をテーマに、副代表 金子を講師として、理解を深めていきました。



▲当日のプログラムの内容のグラフィック・レコーディング

いくら言っても、強く言っても、どうしようもないときの対応がわからない…どうするのが一番いいのだろう…

何回も同じことを言ってしまう…本人にとっていいの？

プログラム予定 全4回の開催予定です。

しつけ



怒ったあとに自己嫌悪、正しいしつけってなんだろう…

大人だってイライラします。だって人間だから。大人の対応方法、子どもがNG行動を繰り返してしまう…お悩み相談。

子どもの成長



いつまでも赤ちゃんじゃないのはわかってるんだけど…

幼児期から小学生になるときの子ども自身の変化や外部環境の変化などから、我が子を見つめ直す機会に。

子どもとIT



AIとかゲームとかデジタルネイティブ世代っていうけどさ…

プログラミング教育や将来の仕事のほか、SNSによる事件など日頃気をつけておきたいことをピックアップ！

勉強



勉強が大切ってわかるのって大人になってからだよ…

宿題イヤイヤ期ありますよね。宿題の必要性や学年と我が子のレベル、やる気スイッチなどお話しします。

▶特集

子どもへの支援が日本の将来を決める。

▶拠点①

あそぼっくすほりさき



●どんな遊びが人気なの？

遊びとして人気なのは、アクアビーズやレゴブロックなどの作り物が人気です。最近工作の時間も作り、「紙しゃぼん玉」を作りました。作っている途中で、「これ、お花にもなる!」と気付いた女の子が花束を作り始めました。この柔軟な発想がとても面白いですね。

身体を動かしたい子どもたちはアリーナ(体育館)を使って、鬼ごっこやだるまさんが転んだをして楽しく遊んでいます。高学年の子がルールの方から教える姿も見られます。子どもたちはお互いに関わり方を学び、刺激を受けながら成長していくのですね。異年齢の子どもたちが集まって遊べる場所として、遊びが発展していく様子をスタッフも楽しみながら見守っています。

子ども第三の居場所って？

「子ども第三の居場所」は、日本財団が全国的に拡げているプロジェクトの1つです。子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を育みます。

行政、NPO、市民、企業、研究者の方々と協力し、誰一人取り残されない地域子育てコミュニティをつくることで、「みんなが、みんなの子どもを育てる」社会を目指します。



あそぼっくす ほりさき

●どんなところ？

子どもたちの放課後の遊び・学び・生活を保障し、自立する力を育てる場です。ちょっとした体育館並みのスペースもある広々とした施設です。遊び自体は子どもたちの自主性に任せ、創造的な遊びを楽しんでいます。

／みてみて～／



はい、
チーズ!



●レゴコンテスト!?

レゴブロックが得意な男の子の作品です。とても格好いいので、コンテストを開催しようかと目論見中。全員が優勝になりそうですね。

子ども
第三の
居場所

Supported by

日本財団 THE NIPPON
FOUNDATION



子ども第三の居場所

- あそぼっくすほりさき
- あそぼっくすみぬま



▶拠点②

あそぼっくすみぬま

見沼区の3つの小学校の放課後の居場所として運営しています。それぞれの家庭背景がありながらも、学校とはまた違う、あたたかい大人との関係性の中で子どもたちは、過ごしています。



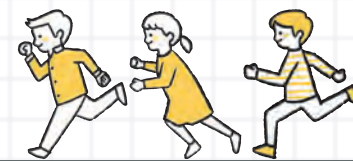
まる～!

／ふむふむ。／



●子どもにも、保護者にも寄り添うこと

支援の形はそれぞれですが、子どもの居場所としてだけでなく、保護者の方の居場所の選択肢の1つになれるよう、日々運営しています。毎日の日誌のほか、子ども1人ひとりの個別対応、ケース会議などを行なっています。また、お迎え時のやりとりだけではなく保護者面談を設けたり、保護者向けプログラムを実施したりと保護者との関係づくりをしています。



▶あそぼっくすほりさき

- アクセス さいたま市見沼区堀崎町12-39
- 開所時間 月曜、水曜、木曜の15:00-18:00
- 連絡先 048-829-7561
asobox.horisaki@gmail.com



▶あそぼっくすみぬま

- アクセス さいたま市見沼区堀崎町12-39
- 開所時間 平日の放課後～19:00
- 連絡先 048-720-8874
asobox.minuma@gmail.com

協働

地域づくり「堀崎プロジェクト」進行中

地域の方々が集い、顔を合わせて、声を掛け合い、「子ども若者を支える」場づくりである「堀崎プロジェクト」を進めています。
堀崎プロジェクトを進めるに当たっては、地元の自治会、社会福祉協議会、民生児童委員、企業、NPOなど地元の支援団体をメンバーとする「堀崎プロジェクト運営協議会」と研究者による活動の方向性を考える「堀崎協議会評価委員会」を開催しています。今回は、Commons Cafeを紹介します。

Commons Cafe 048-731-8513 / さいたま市見沼区堀崎町12-39



地域みんなの居場所

人と人が気軽に集える場所、つなげる交流の場、ホッと一息できる場所、困った時には相談出来る場所を目指しています。

(カフェの売上の一部は、子ども・若者支援に使わせていただきます。)

お子様を安心してご利用できます！



- 地域の方々との交流イベントを開催しています
- 音楽家の生演奏、ワークショップなどに貸出をしています
- キッチンとカフェスペースの貸出をしています

同窓会、家族パーティ、会社の懇親会など、なんでもご相談ください。



◀▼ワークショップなどイベントのご利用も可能です。



地域とつながる、あなたとつながる。



手づくりキッチン いとしや

埼玉県さいたま市見沼区堀崎町198
090-6311-1636



お子様から大人まで、 美味しい幸せを楽しめる

「お子様から大人まで美味しい幸せを楽しめる」をコンセプトに、あらゆる層のニーズに応え地域に愛される店を目指し、お客様の声を徹底的に大切にすることを心掛けております。現在のベーカリーメニュー・カフェメニューの半分ほどはお客様からのご意見、ご要望から完成に至りました。感謝の気持ちを忘れずに「毎日通っても飽きないね!」と喜ばれるよう、スタッフ一同より一層、努力し続けたいと思います。

☑ ユースとのつながり

当店は、住宅街にポツンと「こんなところに? お店が…」と言われるほど、ひっそり店舗を構えてますが、オープンから数年後、ポツンと「あそぼっくすみぬま」が姿を現し、先生方からお子様まで近隣ということもありご最厚にいただいております。今後とも気軽に足を運んでいただけるよう、お待ちしております。

私たちは、限られた資源の中で事業を進めています。その中で、地域との協働・連携は不可欠です。今回は、子ども第三の居場所を様々な形で応援していただいている、地元のお店をご紹介します。

地元野菜をたっぷり使った 手づくりの味が好評です!

「手づくりの味を、多くの人にご提供したい」との思いで2年前にオープンしました。野菜をなるべく多く摂取していただきたいと思い、地元農家の新鮮な野菜を採り入れたメニューを中心に、すべての食材にこだわりを持って作っています。どこか懐かしい家庭の味を「おいしかったよ」と言っていただけののが元気の支えです。

☑ ユースとのつながり

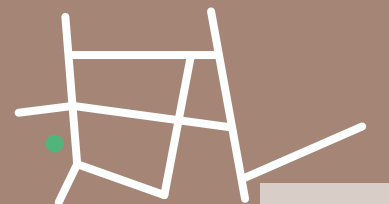
最初は、お客様とお弁当屋というつながりでした。しばらくお付き合いしているうちに「あそぼっくすみぬま」の活動内容を知ることになり、子どもたちに役立つことがあればと思い、お弁当を通じたつながりを楽しんでいます。



賛沢カフェ併
シリーズ
特製パン弁当
650円(税込)

いきぬきカフェテリア ぶんぶんベーカリー

埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1571-11
048-708-2982



さいたま市立
大谷小学校